資料３

令和元年度の防災マップ作成ワークショップについて

○令和元年度には、自治会・消防団のみなさまにご協力をいただきながら、防災マップを作成する検討ワークショップを通して、まちの防災上の課題や取り組みについてご意見を頂きました。

（１）各回の実施概要

回	日程	開催内容	会場
第１回	令和元年９月29日（日） 9:30～12:30	まち歩きワークショップ	当代島公民館 ３階視聴覚室
第２回	令和元年11月24日（日） 10:00～12:30	防災マップづくりワークショップ①	当代島公民館 ３階視聴覚室
第３回	令和２年２月16日（日） 13:30～15:30	防災マップづくりワークショップ②	当代島公民館 ３階視聴覚室

（２）検討の進め方

○全３回のワークショップの開催に向けて、下記の進め方を検討し実施しました。

第１回意見交換会：まち歩きワークショップ

コース別に３班に分かれて、まちを点検して歩き、その成果を大きな地図に整理して発表しました。

《点検内容》
- まちの災害危険
- 防災に役立つことや施設
- その他、まちの昔がわかるもの、面白いもの、自慢ができるものなど

《参加者の役割分担》
- 班長（点検コースを設定して、メンバーを引率する）
- 記録係（点検内容について地図やメモに記録する）
- 写真係（点検個所をポラロイドカメラで撮影する）
- 発表係（点検の成果を発表する）

第２回意見交換会：防災マップづくりワークショップ

まち歩きの成果を基に、次のテーマ別に３班に分かれて、それぞれのテーマについての防災マップを作成し、その内容の発表と意見交換（統合マップに記載する内容の確認）を行いました。

《テーマ》
①消火・救出活動
②避難行動
③被災生活

第３回意見交換会：防災マップづくりワークショップ②

３班のマップを統合して防災マップを作成（方針に反映）

（２）防災マップの成果

当代島防災マップ　～避難行動～

災害時の心得

ステップ1：身近な安全を確保できる場所へ避難しましょう！
ステップ2：地区内で火災が起き、火の手が押し寄せてくる場合は、やなぎ通りや市川・浦安バイパス等の安全な避難路を目指し、必要に応じて広域避難所に避難してください！

●指定避難所：当代島公民館
・想定収容人数：259（4.0㎡/人）

●福祉避難所とは？
・民間の福祉施設等を予め指定して、災害時に避難生活を余儀なくされた際に、一般の避難所での避難生活が困難な高齢者や障がい者等の災害時要援護者を受け入れる施設。

当代島防災マップ　～被災生活～

災害時の心得

・まずは身の安全を確保してください！
・地区内の安全が確認できたら、自宅が被災していない場合は自宅に戻りましょう。
・自宅が被災している場合は、避難所に避難してください。

事前からの備え

下記について地域で話し合っておきましょう！
・情報の周知　・がれきの処理
・給水活動　・停電時の灯り
・食料・物資の供給　・トイレ対策　等